

労働状況調査

〔恵庭市 経済部 商工労働課〕

〔記入上の留意事項〕

- 本調査は、恵庭市内にある事業所が対象です。従業員が3人未満の場合は、下記設問の「1及び2」のみ回答して下さい。
市内に本社(本店)がある場合は、支社(支店)を含めた調査を行い、本社(支店)が市外の場合は、各事業所にて調査をお願いします。
- 令和7年4月30日現在の状況を記入し、番号や記号は○で囲んで下さい。
- 調査表に記入された情報は、目的以外に使用することは一切ありませんので、差し支えない範囲で記入をお願いします。

1. 事業所概要

※企業の業種に該当する番号を1つ○で囲んで下さい

事業所名		電 話		業 種	1. 建設業 5. 金融・保険業 2. 製造業 6. 不動産業 (リース業含) 3. 運輸・通信業 (倉庫業含) 7. 医療・福祉業 4. 卸・小売業 8. サービス業
		F A X			
所在地	(〒 -) 恵庭市	所属部署			
		担当者			

2. 従業員数について(事業主、理事、取締役等役員を除いた人数を記入して下さい。)

区 分		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合 計
正規従業員	男	人	人	人	人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	人	人
臨時従業員	男	人	人	人	人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	人	人
季節労働者	男	人	人	人	人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	人	人
パートタイム	男	人	人	人	人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	人	人
そ の 他 (派遣社員等)	男	人	人	人	人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	人	人
合 計		人	人	人	人	人	人	人

3. 雇用状況について (令和6年4月1日～令和7年3月31日の期間内に雇用した内訳を記入して下さい。)

① 雇用の内訳

区 分	正規従業員	臨時従業員	季節労働者	パートタイム	そ の 他 (派遣社員等)	合 計
新規採用	人	人	人	人	人	人

② 新規採用の内、市内の新卒者を雇用した場合の学校別内訳(正規従業員)

市内各学校	恵庭南高	恵庭北高	文教大学附属高	ハイテクノロジー専門学校
	人	人	人	人
	北海道エコ・動物 自然専門学校	日本医療大学 恵み野キャンパス	北海道文教大学	合 計
	人	人	人	人

③ 市内新卒者の雇用(該当事項に○をつけて下さい。)

1. 優先的に市内新卒者を雇用したい 2. 市内にこだわらない

4. 離職状況について(過去3年間の就職者数に占める離職者数を記入して下さい。)

(令和4年4月1日～令和7年3月31日の間)

区 分	就 職 者 数	内、離職者数	区 分	就 職 者 数	内、離職者数
新卒採用者数	人	人	中途採用者数	人	人

5. 正規従業員について [雇用がない場合は、次の項目へお進み下さい。]

① 新規学卒者(令和7年3月卒業)の採用人数・初任給(該当する箇所を記入して下さい。)

1. 採用あり（下表に記入）					2. 採用なし（②にお進み下さい。）								
区 分	事 務 系				技 術 系				労 務 系				
	初任給平均額		採用人員		初任給平均額		採用人員		初任給平均額		採用人員		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中 学 卒	円	円	人	人	円	円	人	人	円	円	人	人	
高 校 卒	円	円	人	人	円	円	人	人	円	円	人	人	
短 大 卒	円	円	人	人	円	円	人	人	円	円	人	人	
大 学 卒	円	円	人	人	円	円	人	人	円	円	人	人	

注1) 高専卒は「短大卒」に含める。 注2) 「技術系」は資格を有する作業、技術訓練を基礎とした作業、又は専門的技術者

② 各年齢層の基本給

[該当者がいない場合は、会社が定める賃金の規定額(給与表)を記入して下さい。]

区 分		20歳	30歳	40歳	50歳	60歳
事務系	男	円	円	円	円	円
	女	円	円	円	円	円
技術系	男	円	円	円	円	円
	女	円	円	円	円	円
労務系	男	円	円	円	円	円
	女	円	円	円	円	円

③ 諸手当・社会保険等 (いずれかに○をつけて下さい。)

通勤手当	時間外手当	住宅手当	家族手当	燃料手当	夏期手当	年末手当	決算手当	厚生年金	雇用保険	労災保険	健康保険	健康診断	退職金制度	退職金「あり」は次へ
あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	あり ・ なし	

「退職金制度」の種類(該当事項に○をつけて下さい。複数可)

1. 勤労者退職金共済機構(中退金、建退金、特退金の統合組織)	2. 会社独自の退職金制度
3. 生命保険会社の企業年金	4. その他()
5. 左記の併用	

④ 定年制度(該当事項に○をつけ、内訳も記入して下さい。)

定年制度の有無と年齢	再雇用制度の有無	再雇用の人員	定 年 延 長 (65歳まで)
1. あり 男(歳) 女(歳) 2. なし	1. あり a. 嘱 託 b. 臨 時 c. パート 2. なし	→ 男 人、女 人 → 男 人、女 人 → 男 人、女 人	1. 検討中 2. 考えていない 3. 既の実施済み(年 月 ~)

⑤ 労働時間、休憩時間、休日・休暇

(1) 労働時間(変形労働時間制採用の場合は、実施期間の平均時間)

労働時間 (休憩時間を除く)	休憩時間	時間外労働時間 (時間/人/月)	労働時間の短縮(該当事項に○をつけて下さい。)
1週/ 時間 分	1日/ 時間 分	平均/ 時間 分	1. 実施済み 2. 実施予定 3. 検討中 4. 考えなし

(2) 変形労働時間制採用の有無(複数の場合は、主なものを1つ選択して下さい。)

1. あり	→ a. 1年単位制 b. 1カ月単位制 c. 1週間単位制 d. フレックスタイム制
2. なし	

(3) 休日・休暇（該当事項に○をつけて下さい。）

休 日	週 休	1. 週休2日制 →実施形態について a. 完 全 b. 月3回 c. 隔 週 d. 月2回 e. 月1回				
		2. 週休1.5日制				
		3. 週休1日制 →週休2日制への取組について 4. そ の 他 a. 近く実施予定 b. 検討中 c. 予定なし				
	祝 日	1. 全部休日 2. 一部休日 3. 休日扱いでない				
年次有給休暇		1. あり → a. 法定日数 b. 法定日数以下 c. 法定日数に上積 2. なし				
各種特別休暇		ゴールデンウィーク休暇	夏期休暇 (お盆を含む)	冬期休暇 (年末年始を含む)	慶弔休暇	そ の 他 ()
		1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし

⑥ 労働組合の状況(労使関係)（該当事項に○をつけて下さい。）

① 労働組合 1. ある 2. なし	② 就業規則 1. ある 2. なし	③ 賃金規定 1. ある 2. なし
----------------------------	----------------------------	----------------------------

⑦ 出産・育児・介護

（該当事項に○をつけて下さい。）

種 類	制 度
生理休暇	あり・なし
産前産後休暇	あり・なし
育児における短時間勤務	あり・なし
事業所内託児所	あり・なし
介護休暇	あり・なし
介護における短時間勤務	あり・なし

⑧ 育児休業・介護休業制度

（制度の有無や男女別の取得者数を記入してください。）

種 類	制 度	性別	休業取得者数
育児休業	あり・なし	男	人
		女	人
介護休業	あり・なし	男	人
		女	人

6. 臨時従業員、季節労働者について

[雇用がない場合は、次の項目へお進み下さい。]

① 賃金(日額)について

区 分		事 務 職	技 術 職	労 務 職
賃 金	男	最 高	円	円
		最 低	円	円
	女	最 高	円	円
		最 低	円	円

② 諸制度の適用

社 会 保 険	a. あり b. なし	ボーナス	(夏 期)	a. あり b. なし
雇 用 保 険	a. あり b. なし		(冬 期)	a. あり b. なし
年 次 有 給 休 暇	a. あり b. なし	交 通 費	a. あり b. なし	
時間外割増賃金	a. あり b. なし	定 期 健 康 診 断	a. あり b. なし	

7. パートタイムについて

[雇用がない場合は、次の項目へお進み下さい。]

① 従業員数（該当者数を記入して下さい。）

区 分	事 務 職	技 術 職	労 務 職	合 計	(注) 合計欄は、1ページの「2. パート 従業員」の合計と一致します。
男	人	人	人	人	
女	人	人	人	人	

② 従業員の賃金〔時給〕（日給の場合は、時間給に換算して記入して下さい。）

区 分	事 務 職		技 術 職		労 務 職	
	男	女	男	女	男	女
最 高	円	円	円	円	円	円
最 低	円	円	円	円	円	円

③ 従業員の諸条件（該当事項に○をつけて下さい。）

仕 事 の 内 容	a. 正規従業員と同じ仕事をしている	諸 制 度	社 会 保 険	a. あり	b. なし
	b. 正規従業員の補助を行っている		雇 用 保 険	a. あり	b. なし
	c. 独立した仕事をしている		退 職 金 制 度	a. あり	b. なし
就 業 規 則	a. 専用の就業規則がある		年 次 有 給 休 暇	a. あり	b. なし
	b. 正規従業員の規則を準用		時 間 外 割 増 賃 金	a. あり	b. なし
	c. 就業規則がないので、その都度必要事項を決める		ボ ー ナ ス	(夏期) a. あり	b. なし
労 働 契 約	a. 文書で結ぶ（雇入通知書交付）			(冬期) a. あり	b. なし
	b. 口頭で結ぶ		交 通 費	a. あり	b. なし
年 齢 制 限	a. あり（ ）歳 b. なし		定 期 健 康 診 断	a. あり	b. なし
雇用期間の定め	a. あり b. なし				

8. 派遣社員等について

〔雇用がない場合は、次の項目へお進み下さい。〕

（職種別従業者数を記入して下さい。）

区 分		事 務 職	技 術 職	労 務 職	合 計	(注) 合計欄は、1ページの 「2. その他(派遣社員 等)」の合計と一致しま す。
人 材 派 遣	男	人	人	人	人	
	女	人	人	人	人	
業 務 請 負	男	人	人	人	人	
	女	人	人	人	人	

9. 高年齢者（60歳以上）の雇用について

（60歳以上の高年齢者を雇用していない事業所は、該当事項に○をつけて下さい。）

雇用していない理由	a. 高年齢者向けの仕事がない b. 募集しても応募がない c. その他（ ）
今後の予定	a. 近く雇用する b. 現在検討中 c. 予定はない

10. 障がい者の雇用について

1. あり	人	内 訳	男 人	女 人		
2. なし	障がい者を雇用していない事業所は、下記の質問にお答え下さい。					
雇用していない理由	a. 障がい者用の施設が未整備 b. 障がい者にできる仕事がない c. 雇用義務がない					
今後の予定	a. 近く雇用する b. 現在検討中 c. 予定はない					

11. 外国人の雇用について

雇用の有無、国籍ごとの人数を記入して下さい。（技能実習生を含む）

1. あり		人		「なし」の場合は、5ページへお進み下さい。											
国 籍	中 国	男	人	韓 国	男	人	ネパール	男	人	その他① ()	男	人	合 計	男	人
		女	人		女	人		女	人		女	人			
	ベトナム	男	人	インドネシア	男	人	フィリピン	男	人	その他② ()	男	人		女	人
		女	人		女	人		女	人		女	人			

2. なし	「なし」の場合は、下記の質問にお答え下さい。		
雇用していない理由 (複数可)	a. 在留資格や入国手続き、受入れに係る法令や事務手続が不明 b. 受入れをサポートする機関や団体が不明 c. 文化や生活習慣、言語が異なるため d. 受入れに係るコスト(宿舍、日本語教育、資格取得等)が課題 e. 不法行為や犯罪等の発生が心配されるため f. 業務に必要性がなく今後も予定はない。 g. その他 ()		
今後の予定	a. 近く雇用する b. 現在検討中 c. 予定はない		

12. 労働力(人材確保)について

① 現在の労働力と今後の対策

雇 用 の 状 況	(該当事項に1つ○をつけて下さい) a. 不足している b. 将来的に不足が予想される c. 困っていない
対 応 策	(上記a.b.に回答した場合のみ、選択して下さい) (複数可) a. 初任給の引上げ b. 臨時・パート職の増加 c. 正規従業員の採用 d. 退職の延長・再雇用 e. 外注(アウトソーシング) f. 特になし(現状維持) g. その他 ()
人 材 確 保 に 向 け た 取 組 み	(就職説明会へ出展など、会社独自の取組があれば、具体的に記入して下さい)

② インターンシップ制度による学生の受入れ

a. 受入れ可能 b. 条件次第で可能 c. (受入れたいが)現状から難しい d. 受入れできない
--

③ 雇用に関する問題点 (複数可)

a. 雇用のミスマッチにより人材確保ができない b. 若年層の定着率が低い c. 従業員の高齢化 d. 人件費(賃金含む)のアップ e. 残業や労働時間など労働条件の改善 f. 休暇や福利厚生など労働環境の改善 g. 特になし h. その他 ()

13. 働き方改革について

1. 現在、取り組んでいる	2. 今後、取り組む予定(検討中)	3. 取り組んでいない
---------------	-------------------	-------------

① 1. 2. を回答した場合の内容 (複数可)

a. 長時間労働の是正 b. 年次有給休暇の取得推進 c. アウトソーシング d. 福利厚生(制度)の充実 e. 定年延長、継続雇用制度の導入 f. 人事評価制度の導入・改善 g. 女性の登用、活躍推進 h. 人材育成 i. 正規・非正規労働者間の待遇改善 j. その他 ()
--

② 3. を回答した場合の理由 (複数可)

a. 業務が多忙のため b. 問題となっていない c. 必要性や効果が期待できない d. 時間やコストを要す e. 社員や組織的に理解が得られない f. ノウハウが不明 g. その他 ()

労働状況調査は以上で終了です。本調査にご協力いただき大変ありがとうございました。
調査結果につきましては、後日連絡させていただきます。

尚、今回ご回答いただいた内容について、後日確認の問合せを行う場合がありますので、
その際はご協力をお願い申し上げます。

ここからは恵庭市総務部総務課からの調査項目となりますのでご協力をお願いいたします。

本調査は市内企業の男女共同参画に関する意識を調査することで、男女共同参画社会をめざす「まちづくり」の活動資料とするとともに、今後の男女共同参画の活動方針の指針とするために実施するものです。

1. 男女共同参画社会について伺います

1. 「男女共同参画社会」※という言葉を知っていますか。(該当するもの1つに○をつけてください)

①よく知っている	②ある程度知っている
③言葉を聞いたことはあるが 内容はあまり知らない	④聞いたことがない

※男女共同参画社会…男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

2. 「女性活躍推進法」※という法律を知っていますか。(該当するもの1つに○をつけてください)

①よく知っている	②ある程度知っている
③言葉を聞いたことはあるが 内容はあまり知らない	④聞いたことがない

※女性活躍推進法…平成27年8月に成立した女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を図る法律

2. 男女共同参画の取組みについて伺います

1. 貴社では、男女共同参画社会についてどのようにお考えですか。(該当するもの1つに○をつけてください)

①積極的に推進している	②積極的とは言えないが、推進している(していく予定)	③必要性は感じているが、推進することは難しい
④特に必要性を感じておらず、推進していない	⑤わからない	

2. 2-1で①、②と回答された方にお聞きします。

男女共同参画の職場とするための積極的な推進策としてどのような取組みをされていますか。

(該当するもの全てに○をつけてください)

①男女共同参画に関する研修に参加している
②女性の募集・採用の拡大をしている
③女性が少なかった職場や職域に女性を配置している
④女性の管理職を積極的に登用している
⑤女性が継続して就業できるよう配慮している
⑥女性の産休・育休後の復職に対し配慮している
⑦性別に関わらず、仕事と家庭の両立ができるよう労働時間に配慮している
⑧その他(ご自由にご記入ください)
⑨特になし

3. 2-1で③、④と回答された方にお聞きします。
 職場における男女共同参画を困難にしている要因は、どのようなところにあると思いますか。
 (該当するもの全てに○をつけてください)

①男性の家事参加が遅れており、女性のみの家事・育児・介護などの負担が大きいから
②女性と男性の体力や能力に違いがあるから
③女性の意識の問題
④男性の意識の問題
⑤経営者・管理職の意識の問題
⑥事業所にとってのメリットが期待できないから
⑦問題解決のための具体的方法がわからない
⑧経営上ゆとりがない
⑨税制や年金制度などの社会的制度・慣行
⑩女性は結婚・出産・育児・介護により長期休暇や退職などがあるため
⑪その他(ご自由にご記入ください) []

3. 女性の管理職登用について伺います

1. 貴社における係長以上の女性管理職※は管理職全体の割合の何%ですか。

①女性管理職がない	②10%未満	③10%～29%
④30～49%	⑤50%以上	

※管理職・・・企業の組織形態の各部署において、配下の係員等を指揮・監督する役職のほか、専任職、スタッフ管理職等と呼ばれている役職を含む。

2. 3-1で①、②と回答された方にお聞きします。
 女性管理職の割合が少ない(または、いない)のは、どのような理由からですか。
 (該当するもの全てに○をつけてください)

①管理能力の面で、女性の適任者が少ない
②女性はすぐ辞めてしまうので、人材として育てられない
③女性には家庭での責任があるので、長時間の労働を要求できない
④女性自身が、管理職になることを望んでいないことが多い
⑤上司、同僚の男性の認識、理解が不十分である
⑥業務の内容が、女性には任せられない、あるいは女性には向いていないと思う
⑦将来管理職になる可能性のある女性はいるが、現在のところ在职年数などを満たしていない
⑧顧客が女性管理職を嫌がる
⑨女性職員が少ない
⑩その他(ご自由にご記入ください) []

4. 行政へ期待することについて伺います

1. 女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援を進めていくうえで、行政にどのような取組みを期待しますか。
(該当するもの全てに○をつけてください)

☐	①男女共同参画等をテーマにしたセミナーの開催
☐	②女性登用の必要性・メリット等に関する普及啓発
☐	③女性登用や男女共同参画に積極的に取り組んでいる企業の情報提供
☐	④結婚、出産などを機に退職した女性の再就職に向けた教育訓練
☐	⑤子育て支援サービスや介護保険サービスなどに関する相談窓口の周知
☐	⑥女性の活躍を積極的に推進している企業の登録や認定、表彰の実施
☐	⑦その他(ご自由にご記入ください) []
☐	⑧特になし

**男女共同参画に関するアンケートは以上となります。
お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。**

○恵庭市総務部総務課 男女共同参画担当
Tel:0123-33-3131